

令和6年度第3回始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議開催結果

開催日時	令和7年3月4日（火）18時30分～20時15分
開催場所	始良・伊佐地域振興局 霧島庁舎 2階大会議室
出席者	17人（代理出席5人を含む）
傍聴者	12人

<議 事>

1 協議事項

(1) 2025年に向けた具体的対応方針について

ア 大井病院

【内容】新棟建築計画を進めており、同法人のザ王病院から12床移転予定

病床数：現 在：119床（急性期42、回復期77）

→2027年：131床（高度急性期1、急性期80、回復期50）

【結果】協議の内容について、合意

イ 県立北薩病院

【内容】病棟の改築工事が令和7年3月中に完了予定

多床室の個室化に伴い、現在の許可病床150床から110床に変更

【結果】減床のため、報告のみ

ウ オレンジ学園

【内容】令和7年度に病床数を196床から34床削減し、162床とする予定

令和7年度に地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）を申請予定

【結果】減床のため、報告のみ

次年度の始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議にて協議予定

(2) 外来機能報告制度における紹介受診重点医療機関について

紹介受診重点医療機関として公表されている2医療機関について、統一した様式を使用し、協議

ア 南九州病院

【内容】紹介受診重点医療機関の継続

【結果】継続について合意

イ 霧島市立医師会医療センター

【内容】紹介受診重点医療機関の継続

【結果】継続について合意

(3) 始良伊佐構想区域 区域対応方針（最終案）について

始良・伊佐地区の現状と課題について関係者で共有し、区域対応方針（案）の各項目について、協議（委員からの意見等）

- ・現状を分析することで病床削減ではなく、医療と介護の連携強化等の課題が示された。
- ・介護施設での急変者は介護施設で看れるように努めてほしい。看取りのための救急搬送は避けてほしい。
- ・当圏域は熊本県や宮崎県に隣接しており、県境の住民の一部は他県の医療機関を利用している。
- ・救急医療に関しては広域的視点での協議が必要ではないか。
- ・医療 DX や ITC 化を進めていく方法もある。
- ・医科医療機関と同様に、歯科医師や薬剤師の高齢化や人材不足の現状がある。

【結果】協議の内容について、合意。

（軽微な部分は、事務局と議長に一任）

(4) 地域医療構想調整会議の協議要件について

調整会議での協議や報告が必要な事象について協議

【内容】

- ①「病床機能を変更しようとする医療機関」について、病棟単位から病床単位に修正（変更）
- ②「新たに病床を整備する予定の医療機関（開設、増床）」について、現行の開設、増床に減床、廃止を追加
（開設、増床の場合は出席を要請する。減床、廃止の場合は原則として書面での報告）を追加
- ③「調整会議で合意された事項について、変更予定の時期を 1 年以上経過しても、合意事項が予定どおり運用されていない場合は再協議」を協議事項として新たに追加

【結果】協議の内容について、合意